

ふるさと創生拠点ハイスクール拡大事業オンラインスピーキング強化業務 公募型プロポーザルに関する質問及び回答		
番号	質問	回答
1	【3 業務内容(1)について】 過去のオンライン英会話実施における課題、または貴庁が想定する今後オンライン英会話を実施する上での懸念点をご教示ください。	・レッスンの効果をより高めるため、生徒一人一人の学習段階に応じた適切な教材を利用できるようにすることが課題です。その生徒に合った教材を選ぶ際に、初級用や中級用など、あらかじめカテゴライズされていれば、生徒はもちろん、教師にとっても利用しやすいと考えています。 ・マンツーマンレッスンの指導ですので、講師の資質によって学習効果や次の学習への動機付けが高まったりします。教育的配慮のできる、より質の高い講師にご指導いただきたいと思います。
2	【3 業務内容(1)について】 過去にオンライン英会話やオンラインでの国際交流プログラム等を実施した際の課題点がございましたらご教示いただけますでしょうか。	
3	【3 業務内容(1)について】 過去に同種の業務を実施していた場合、直近3年度の契約金額(税抜)と契約業者、実施回数/実施人数/実施時期をご教示ください。	<p>令和5年度 契約金額(税抜) 810,000円 契約業者 GRASグループ株式会社 実施回数 900回 実施人数 70人(体験入学参加者を除く) 契約期間 令和5年4月～令和6年3月</p> <p>令和4年度 契約金額(税抜) 772,800円 契約業者 GRASグループ株式会社 実施回数 966回 実施人数 105人(体験入学参加者を除く) 契約期間 令和4年6月～令和5年2月</p> <p>令和3年度 契約金額(税抜) 806,528円 契約業者 合同会社DMM.com 実施回数 1,008回 実施人数 63人(体験入学参加者を除く) 契約期間 令和3年5月～令和4年2月</p> <p>※ 過去3年間の仕様書の回数は、900回以上</p>
4	【3 業務内容(1)について】 延べ660回以上の実施とありますが、受講人数の目安はありますか。	受講人数は、60名程度(体験入学参加者は除く)を想定しています。 【内訳】 1年 数理科学科 22名 2年 数理科学科 23名 1年 普通科/情報ビジネス科 希望者 2年 普通科/情報ビジネス科 希望者
5	【3 業務内容(1)について】 想定の内受講者人数は何人程度でしょうか。	<p>〈参考〉 令和5年度受講人数 1年 数理科学科 23名 2年 数理科学科 31名 1年 普通科/情報ビジネス科 9名 2年 普通科/情報ビジネス科 7名 体験入学参加者(中学生) 18名</p>

6	【3 業務内容(1)について】 オンライン英会話は通常授業内で実施するという認識でお間違いないでしょうか。	・数理科学科の生徒は、通常授業で実施します。 ・普通科及び情報ビジネス科の希望者は、放課後等に、体験入学参加者は土日に実施する予定です。
7	【3 業務内容(1)について】 オンライン英会話で使用するイヤホンは受託者が用意する必要があるかご教示ください。	受託者が用意する必要はありません。
8	【3 業務内容(1)について】 高校の生徒様は1学級(30名程度)毎に毎回受講するという認識でよろしいでしょうか。	・数理科学科については、学級単位での実施となりますが、週に3時間授業があれば、そのうち1時間がレッスンというように、毎授業ごとに実施はしません。 ・普通科及び情報ビジネス科については、昨年度は補習の形で一斉に実施していましたが、今年度は個別で放課後に実施する予定です。
9	【3 業務内容(1)について】 レッスン開始時間の指定はありますでしょうか。	・数理科学科については、英語の授業で実施するため、指定があります。原則、開始時間は以下のとおりとなります。ただし、時間割変更や学校行事等の都合により、変更になることがあります。 1年 数理科学科 木曜 10:00頃から 2年 数理科学科 火曜 13:30頃から ・普通科及び情報ビジネス科の生徒については、希望者が放課後に個別に実施する予定ですので、実施日時等はレッスン実施前の6月頃に別途協議をします。
10	【3 業務内容(2)について】 過去の実施において、教職員対象の事前研修会、導入後の職員研修はオンライン・現地のどちらで実施していたかご教示ください。	オンラインによる研修を実施しています。
11	審査委員会の構成について、有識者や教育委員会役職者並びに学校関係者等の構成員数をご教示ください。	当該業務に係る条件や提案書提出手続きに関する事項に限り、質問の回答をすることとしており、審査に関する内容については、お答えできません。